

事業計画書

事業名	冒険山開放に伴う見守り事業
団体名	冒険山開放委員会

<p>小金北小学校にある遊具施設（冒険山）を開放し、地域を超えた子ども達が、自由に、安全に遊べるよう、その見守り活動と・体験広場を開催し、用具の準備・工材の購入・工作のアドバイス等を行う。</p>
--

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>近年小学生の7割が、外で遊ばないというデータが出ております。子ども達の遊ぶ時間・場所がない・仲間づくりができない等がその要因です。</p> <p>そこで小金北小学校にある遊具施設（冒険山）を休日に開放し、自由に遊べる場所と、時間を提供し、健全な仲間づくりの醸成のため、その見守りと、体験広場・イベントを開催する。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>冒険山を開放し、危険を自分自身で感じられる自立心と挑戦力の醸成に寄与すること。また地域を超えた子ども達が遊びを通じて集うことにより、子ども達の視野を広げ、相互の存在を認めあえる場の提供等を目的とします。</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>①冒険山開放日の参加者見守りと、各種体験広場の開催。 （冒険山開放日：毎月第1・2日曜日1時から4時）</p> <p>②体験広場：（竹馬騎乗体験・竹ぼっくり遊び・ストラックアウト・凧つくりと大会・こま回し、工具を使い各種木材作品作り・けん玉・焼き芋大会料理教室の開催等。）</p> <p>③焼き芋の集い（場所中金杉浅間公園募集50名他スタッフ30名） 参加者が増えた中で焼き芋の待ち時間を短縮するために、外部業者に芋の下処理をお願いすることにしました。レンタルの焼き芋機とバーベキュー台で焼き作業を行い大量の場合でも対応できるようにします。</p> <p>④オンラインセミナーの開催 講師 下正宗（前東葛病院院長）2回 ・コロナ禍における夏休みの過ごし方をテーマに ・子どもとコロナ感染症対策（対象人数30名）</p> <p>⑤オンラインセミナーの開催 講師 大久保俊樹（亜細亜大学教授）2回 ・子どもと遊び ・幸せになる子育てヒント（対象人数30名）</p> <p>⑥ソーメン流し 場所小金北小学校（対象小学生100名）</p> <p>⑦凧揚げ大会 場所 坂川土手周辺、（対象人数小学生50名）</p>

2. スケジュール（必要に応じて打ち合わせを行う、会場中金杉青年館）

実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4～3月	①開放時の見守り②体験広場	隊員：2～4名・北小校庭
6月	⑤オンラインセミナーの開催	講師 大久保俊樹 亜細亜大学教授
7、8月	⑥ソーメン流し	小金北小学校校庭
11月	③焼き芋の集い ④オンラインセミナー	中金杉浅間公園 講師 下正宗 前東葛病院院長
1月	⑦凧揚げ大会	坂川土手周辺

・オンラインセミナー、各イベントの告知はその都度作成します。
※セミナー2回分については期中に実施、内容検討中。

既存の事業から
ステップアップ
する部分
(ステップアップ
助成のみ)

・オンラインセミナーの実施を年間4回開催する。
コロナ禍の中では大掛かりな講演会は難しいので、ZOOMを使って小規模のセミナーを行います。テーマは「子どもと遊び」が中心ですが子どもに対することに悩んでいる親に対してアプローチします。

事業の目標

- ① イベントを強化することによって、遊ぶ楽しさを子供たちに理解してもらい、普段の開放日の参加者の増加を図る。目標20名以上。
小金北小だけでなく近隣の小学生にも参加を呼び掛けて拡大する
- ② 継続的な事業の展開を目指すには、見守り隊の人員体制の強化が必要です。一回あたりは2～4名。見守り隊員は延べ15名体制。
- ③ オンラインセミナーの参加者目標は30名とする。

今後の展望

・「子どもたちの健やかな成長を願って」というテーマで活動を続けておりますが、現在子どもたちを取り巻く環境はますます厳しさを増しております。
こんな環境を作り出した原因の中には親世代が作り出した問題もあります。ミニ集会、講演会などの機会を利用して、子育て世代にも理解をいただけるように働きかけていきます。

・冒険山は小学生なら誰もが感じる素晴らしい遊び場です。その遊び場を北小学校だけでなく近隣の小学生なら誰もが楽しめる場所としてさらに広げたいと考えております。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	関係団体寄付金	¥ 20,000	近隣町会からの寄付金
	団体拠出金	¥ 18,850	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 38,850	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 169,650	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 208,500	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 40,000	講演会謝礼 お礼 (10,000×4回)	
	消耗品費	¥ 85,000	流しそうめん食材 40,000	材料代 @400×100人 (そうめん代、氷代、麺つゆ代 ガス代、割りばし、容器など)
			焼き芋 30,000	材料代 @600×50人 (芋代、ガス代、炭代他 割りばし、容器など)
			凧あげ 5,000	材料代 @1000×5 (凧、タコ糸代他)
			コピー用紙インク代 10,000	インク代 8,000 @1,000×8 コピー用紙代 2,000 @500×4
	使用料及び賃借料	¥ 25,500	打合せ会場使用料 9,000 焼き芋機レンタル料 16,500	中金杉青年館 @1,500×6回 @16,500×1台
	印刷製本費	¥ 8,000	コピー代 パウチ代	(カラー@10×700) (@10×100)
	委託料	¥ 20,000	サツマイモ調理委託	蒸気にて加熱処理
	保険料	¥ 10,000	行事保険	見守り@600×10 イベント@2,000×1 @1,000×2
	対象経費の合計 (D)		¥ 188,500	
その他経費	食糧費	¥ 20,000	見守り飲み物 昼食代	
	その他経費の合計 (E)	¥ 20,000		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 208,500		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。